

小学生とのタウンミーティング（11月）でいただいた意見と市の対応

『テーマ：未来の松山のこと、私の住む地区のこと』 令和6年11月9日（土）13：30～

☆	意見の内容	いつごろ できるかなど	対応策または できない場合の理由など	担当課
1	<p>味生第二小学校にあるアスレチック遊具は、全部を新しい遊具に変える予定でしたが、市の担当者の方が、いくつか残してくれると聞きました。今はどのようになっていますか。</p> <p>また、松山駅や松山市駅などの改修工事のきっかけを教えてください。</p>	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p>□今年度中</p> <p>□次年度以降</p> <p>□検討中</p> <p>□不可能</p> <p>■その他</p>	<p>古くなった味生第二小学校のアスレチック遊具は、先生を通じて、残して欲しい児童の皆さんの希望をお聞きし検討していました。</p> <p>タウンミーティングの後、安全に使うための点検方法や、もっと古くなり維持できない場合は取り外すなど、先生と話し合いました。その結果、10個あるうちの7個は、今までどおり使うことを決めました。</p> <p>松山市では、魅力や活力にあふれ、発展し続けるまちをつくり、未来の松山を支える皆さんに引き継ぎたいと考えています。</p> <p>このような思いで、松山をより良くする工事を始めました。</p> <p>「道後温泉本館」は、これからの100年を考え、古い建物の保存や修理を行いました。「JR松山駅」では、アリーナやホールなど、多くの人が楽しめる施設を、市民の皆さんの声を聞き検討します。「松山市駅」では、電車やバスの乗り換えが便利になり、多くの人が集まる広場をつくります。</p>	<p>教育委員会 学習施設課 脛永 正広 089-948-6600 都市整備部 交通拠点整備課 野口 英治 089-948-6515 村井 望 089-948-6021 産業経済部 道後温泉事務所 三神 正裕 089-907-5554</p>
2	<p>道後温泉を全国や世界中の国の人に知ってもらうため、また、未来に残すために、どんな工夫が必要だと思いますか。</p>	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p>□今年度中</p> <p>□次年度以降</p> <p>□検討中</p> <p>□不可能</p> <p>□その他</p>	<p>「道後温泉本館」は、皆さんの世代に引き継ぐ、100年に一度の保存修理工事を行い、今年（令和6年）7月、5年半ぶりに全館の営業を再開しました。</p> <p>工事中は、地元の皆さんと協力し、アートで道後をいりどり、訪れた人が楽しめるように工夫しました。その結果、令和4年度から2年連続で、「にっぽんの温泉100選」で全国3位に選ばれています。</p> <p>また、全館での営業が再開した後も、新しい貸し切り休けい室の営業を始め、道後温泉の3つのお湯（本館・別館 飛鳥乃湯泉・椿の湯）を楽しんでもらうチケットの販売など、積極的にPRしています。</p> <p>引き続き、道後温泉の魅力を高め、広く情報発信していきます。</p>	<p>産業経済部 道後温泉事務所 三神 正裕 089-907-5554</p>

3	<p>日本は水がきれいで、安心して蛇口の水を飲めますが、最近ダムの水が減っていると聞きました。</p> <p>松山市はごみが少ないまちですが、ポイ捨てを見かけます。環境問題に対しての松山市の取組と、私たちにできることを教えてください。</p>	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p><input type="checkbox"/>今年度中</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>検討中</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市では、安全な水を皆さんへお届けするため、毎日検査をして、水質に問題のないことを確認しています。水道水のもとになる水源は、ダムと地下水が半分ずつぐらいです。雨が少ない年は、ダムの水や地下水も減るので、市民の皆さんに節水のご協力をお願いしています。</p> <p>また、環境学習会や、テレビやラジオなどで、市民の皆さんにごみを減らす呼びかけを行っています。自宅や会社で、ごみの分別や水切りなどを徹底してもらった結果、一人一日あたりのごみの量は、全国で47ある県庁がある市で1位、62ある中核市でも2位の少なさになっています。</p> <p>小学生の皆さんにもできることはたくさんあります。地域の清掃活動に参加することや、食べ残しをしないこと、マイボトルやマイバッグを使うこと、電気をこまめに消して節電することなどです。学校やお家で取り組んでみてください。</p>	<p>公営企業局 浄水管理センター 安藤 英司 089-977-0510 環境部 環境モデル都市推進課 瀬尾 英孝 089-948-6434</p>
4	<p>市長さんは、松山市のどのようなところが好きですか。</p> <p>また、よい松山にするために、日々どのようなことを考え、行動していますか。</p>	<p><input type="checkbox"/>可能</p> <p><input type="checkbox"/>対応済</p> <p><input type="checkbox"/>今年度中</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>検討中</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p>■その他</p>	<p>松山市には、日本最古と言われる「道後温泉」や、全国で12しかない、江戸時代が終わるまでに建てられた天守(てんしゅ)のある「松山城」など、全国に誇れる魅力がたくさんあります。また、松山市は全国の中でも、通勤や通学にかかる時間が短く、とても住みやすいまちです。このように、たくさんの魅力が集まっているところが、松山市のよさだと思います。</p> <p>私が目指す松山は、市民の皆さんに笑顔が広がり、幸せを実感できるまちにすることです。一人でも多くの市民の皆さんが、笑顔になれる松山の実現を目指します。</p> <p>皆さんも、松山の良いところを日ごろから探してみてください。そして、大人になって松山を離れても、育ったまちである、松山を好きだという気持ちを大切にしてもらいたいと思います。</p>	<p>総合政策部 シティプロモーション推進課 篠崎 亮 089-948-6877 企画戦略課 新原 愛 089-948-6341</p>

5	<p>粟井は海に近い地域ですが、最近、海に行くとごみ袋やびん缶などのごみをよく目にします。このままでは、きれいな砂浜がなくなってしまうと思います。松山市ではどのようなことをしていますか。</p>	<p>■可 能 ■対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市では、きれいな砂浜を守るため、いろいろな取組をしています。海岸にあるごみの多くは、まちの中で捨てられたごみが、川から海に流れ出したものです。そのため、ルールを守ってごみ出しすることや、使い捨てのプラスチックを減らしていくことなどを呼びかけています。</p> <p>ほかにも、「ポイ捨て禁止」看板を希望する方に無料で配って、ごみが多く捨てられている場所に設置してもらうほか、海岸やまちの清掃をするボランティアの方には、ごみ袋を無料で配って、集めたごみを回収しています。</p> <p>なお、粟井地区の海岸は、愛媛県が管理をしています。県では、きれいに海岸を利用する呼びかけや、月ごとのパトロールを行ったり、海岸の清掃活動を行うボランティア団体を支援したりしています。</p>	<p>環境部 環境モデル都市推進課 瀬尾 英孝 089-948-6434</p> <p>都市整備部 空港港湾課 永井 英司 089-994-5248</p>
6	<p>持続可能な社会への発展目標や、松山市の取組を教えてください。</p> <p>未来の松山市に、観光客が多く訪れるための方策があれば教えてください。</p>	<p>■可 能 ■対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市にあるたくさんの宝をさらにみがき、若い世代に引き継ぐことで、持続可能なまちづくりを行うことが大切です。このような思いで、現在、「第7次松山市総合計画」をつくっています。</p> <p>これは、市役所の今後10年間の仕事の進め方を決める計画で、たくさんの方、特に、若い世代の皆さんの意見を大切にしながらつくっています。世界中のどこにいても、「瀬戸内にある松山が私のふるさとだ」と胸を張れるまちを目指しています。</p> <p>また、松山市では、たくさんの方に観光に来ていただけるよう、さまざまな取組をしています。例えば、まわりの市や町と協力して観光客を呼び込むことも、その一つです。広島まで来た外国の方が、松山にも足を運んでもらえるよう、船の料金を安くしたり、お互いに温泉で有名な別府市と協力して、別府も松山も両方楽しんでもらおうと一緒にPRしたりしています。</p>	<p>総合政策部 企画戦略課 直野 充智 089-948-6943</p> <p>産業経済部 観光・国際交流課 笠置 恵美 089-948-6556</p>

7	<p>食材が値上がりしています。塾などにもお金がかかるので、家庭の負担を減らし、すべてのこどもが安心して給食を食べられるように、給食費の無償化ができませんか。</p>	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>近ごろ、全国で食材の価格が値上がりしています。松山市では、ご家庭の負担が増えないよう、値上がりした分の給食費は、市が費用を出して、安全・安心で栄養バランスと量を保った給食を続けています。</p> <p>松山市だけで、全ての給食費を負担することは、今は難しい状況ですが、給食費の無償化は、子育てをしている皆さんを助けることになるため、国から必要な費用をいただけるようお願いをしています。</p> <p>松山市では、昨年（令和5年）12月に、こどもの通院費・入院費が無料になる年齢を18歳まで広げるなど、ご家庭の負担を減らせるよう努めています。</p> <p>これからも、子育てをしている皆さんの負担を減らすために、何ができるかしっかり考え、取り組んでいきます。</p>	<p>教育委員会 保健体育課 柴田 仁 089-948-6812</p> <p>こども家庭部 子育て支援課 安部 奈美 089-948-6888</p>
8	<p>五明・菅沢地区には農協や移動スーパーはありますが、営業時間が短く、商品も少なく不便に思っています。お年寄りの方も安心して暮らせるために、お店をつくってほしいです。</p>	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>スーパーやコンビニなどのお店は、赤字になってすぐにお店を閉めることがないように、利益が出て続けていけるかなど、何年もかけて考えたうえで、お店を出す場所や営業時間を決めています。</p> <p>食料品などを車でまわって販売する移動スーパーは、高齢者の皆さんに喜ばれ、コミュニケーションの場にもなっています。</p> <p>地域の皆さんの声を聞きながら、お店を経営する人の立場も考えて、民間の会社に出店を働きかけるなど、松山市にできるサポートを考えていきたいと思っています。</p>	<p>産業経済部 企業立地・産業創出課 渡部 裕介 089-948-6710</p>

9	<p>夏の暑い日でも、体を動かして、友だちと遊べるように、各校区に児童館など、屋内で遊べる施設をつくってほしいです。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、同じエリアに児童館が集まらないよう、市全体のバランスを考えて、全部で8カ所につくっています。質問をいただいた八坂小学校から一番近い「新玉児童館」では、エアコンのついた室内で、マットやとび箱、卓球などをして遊べます。</p> <p>また、皆さんが中学生になれば、八坂小学校から歩いて約3分の「青少年センター」が利用できます。バレーボールやバスケットボール、バドミントンなどで遊べますので、ぜひご利用ください。</p> <p>松山市では現在、JR松山駅の南エリアに、新しいアリーナやホールのほか、こどもが遊べるスペースなど、いろいろと考えています。市民の皆さんの声を聞き、喜んでもらえる施設にしていきます。</p> <p>さらに、この近くに、アミューズメント施設や商業施設などができるよう民間の会社と相談するなど、こどもが楽しめる場所にしていきます。</p> <p>【市内8カ所の児童館】</p> <table border="1" data-bbox="922 691 1693 919"> <tr> <td>中心部エリア</td> <td>中央児童センター、新玉児童館</td> </tr> <tr> <td>東部エリア</td> <td>久米児童館、畑寺児童館</td> </tr> <tr> <td>西部エリア</td> <td>南部児童センター</td> </tr> <tr> <td>南部エリア</td> <td>味生児童館</td> </tr> <tr> <td>北部エリア</td> <td>久枝児童館、北条児童センター</td> </tr> </table>	中心部エリア	中央児童センター、新玉児童館	東部エリア	久米児童館、畑寺児童館	西部エリア	南部児童センター	南部エリア	味生児童館	北部エリア	久枝児童館、北条児童センター	<p>こども家庭部 こどもえがお課 清水 宏晃 089-948-6781 教育委員会 教育支援センター事務所 山下 亮 089-943-3205 都市整備部 交通拠点整備課 野口 英治 089-948-6515</p>
中心部エリア	中央児童センター、新玉児童館													
東部エリア	久米児童館、畑寺児童館													
西部エリア	南部児童センター													
南部エリア	味生児童館													
北部エリア	久枝児童館、北条児童センター													
10	<p>家の近くに、大人になるまでずっとあったらいいなと思うお店がたくさんあります。美味しいお店の味を後世に残して受け継いでいくために、松山市が中心となって働きかけを行うことはできますか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、新しくお店や会社を始めたい人や、今、お店をしている人が、経営などの相談をすることができる「松山しごと創造センター」を銀天街につくっています。ここでは、中小企業の経営状況を診断する専門家などからアドバイスをもらうことができ、お店や会社を誰かに引き継ぐためのお手伝いもしています。</p> <p>また、銀行と協力して、お店をやめたい人と、このようなお店を引き継ぎたい人をつなぐマッチングも行っています。さらに、セミナーや交流会を開いて、新しくお店を始めたい人や経営者を応援しています。これからも、ホームページなどで情報を広くお知らせしていきたいと思えます。</p>	<p>産業経済部 ふるさと納税・経営支援課 渡邊 晃文 089-948-6783</p>										

11	<p>興居島の海がとても好きなので、海洋ごみの対策をしてほしいです。ごみの見える化、奉仕活動を増やす、ポイ捨てをした場合の条例をつくるなどができると思います。</p>	<p>■可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他</p>	<p>海岸にあるごみの多くは、まちの中で捨てられたごみが、川から海に流れ出たものです。松山市では、平成15年に、「松山のまちをみんなで美しくする条例」をつくり、道路や河川へのごみのポイ捨てを禁止するほか、「ポイ捨て禁止」看板を希望する方に無料で配って、ごみが多く捨てられている場所に取り付けてもらっています。また、海岸やまちの清掃をするボランティアの方には、ごみ袋を無料で配って集めたごみを回収しています。さらに、会社のまわりや地域を清掃する「プチ美化運動」を呼びかけ、現在、308の企業や団体の方にご参加いただいています。</p> <p>今後も、市民の皆さんに、美しいまちづくりへの積極的な参加を呼びかけ、協力してもらえるようにしていきます。</p>	<p>環境部 環境モデル都市推進課 瀬尾 英孝 089-948-6434</p>
12	<p>四国新幹線が開通すると、観光客の増加が予想されます。若者が来たくなくなるような施設ができると、さらに松山が盛り上がると思うので、大きな会社が来てくれると嬉しいです。</p> <p>また、坊っちゃん列車の現状について、意見を聞きたいです。</p>	<p><input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他</p>	<p>松山市では、四国新幹線が実現するよう、愛媛県や県内の市や町、民間の会社と一緒に、JR西日本やJR四国へお願いしています。松山市長が、これらの自治体や民間会社などでつくる団体の副会長になり、積極的に活動しています。</p> <p>今年（令和6年）9月に、駅舎が新しくなったJR松山駅では、南エリアに、プロスポーツの試合や音楽ライブなどを楽しめるアリーナと、文化活動で使えるホールが一緒になった施設を、市民の皆さんの声を聞き検討していきます。その近くには、子どもが楽しめるアミューズメント施設や飲食店、商業施設、ホテルなどができるように、民間の会社と相談します。</p> <p>また、本市には、まじめで優秀な人材が多く、物価なども低いため、会社をつくりやすい環境をアピールして、大きな企業にも来てもらえるよう、取組を続けていきます。</p> <p>「坊っちゃん列車」は、市民や観光客の皆さんへのアンケート調査の結果、運行を続けてほしいと考える人の多いことが分かりました。坊っちゃん列車が、これからも安全に走り続けられるよう、支援していきたいと思えます。</p>	<p>都市整備部 都市・交通計画課 上田 朱里 089-948-6836 交通拠点整備課 野口 英治 089-948-6515</p> <p>産業経済部 企業立地・産業創出課 織田 太一郎 089-948-6549 観光・国際交流課 的場 愛子 089-948-6556</p>

13	<p>松山市にテーマパークができる嬉しいです。テーマパークができる、子どもたちが楽しめて、観光客も増えて、より良い松山になると思います。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>子どもから大人まで楽しめるテーマパークが松山市にあれば、市民の皆さんが楽しめて、市外から遊びに来る人も増え、にぎわいのある楽しいまちになると思います。</p> <p>テーマパークは、民間の会社が、たくさんの方が来てくれる場所はどこか、つくった後も、ずっと人が来てくれるかなど、何年もかけて調査をして、たくさんのお金をかけてつくります。大きなテーマパークは、人口が多い大都市でないと、つくるのが難しいと思われます。</p> <p>松山市と、まわりの市や町の人口に見合ったものであれば、テーマパークをつくりたい会社が出てくるかもしれません。</p> <p>本市では、新しくテーマパークをつくる費用の一部を支援できますので、つくりたい会社があれば、サポートしたいと考えています。</p>	<p>産業経済部 企業立地・産業創出課 織田 太一郎 089-948-6549</p>
14	<p>「畑寺のバス通り」は、道がせまいのに車が多く、歩行者や自転車の方が大変です。また、お遍路さんもたくさん通るので、みんなにとって通りやすい道にしてほしいです。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>地元で「畑寺のバス通り」と呼ばれている道路は、県道松山東部環状線で、愛媛県が管理をしています。今回のご意見をお伝えし、以下の回答がありました。</p> <p>【愛媛県中予地方局建設部道路第一課】</p> <p>交通量の多い「畑寺のバス通り」は、地域の皆さんと、工事を進める話し合いがまとまり、来年（令和7年）の1月頃から一部で歩道をつくる工事が始まります。</p> <p>かなりの費用がかかる工事で、完成までには数年かかりますが、地域の皆さんも、お遍路さんも、安全に利用できる歩きやすい道路にしていきたいと思いますので、工事中はご協力をお願いします。</p>	<p>都市整備部 道路河川整備課 仙波 ミカ 089-948-6570</p>

15	<p>宮前地区には、ボールを使える公園がありません。今後、つくる予定はありますか。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>ボール遊びのできる公園は、普段公園を管理してくれる地域の皆さん（公園管理協力会）が、ルールを決めたところから、松山市がネットなどをつけて、つくっています。</p> <p>タウンミーティング終了後、「中須賀公園」でボール遊びがしたいとかがいましてので、地元の公園管理協力会にお伝えしたところ、「地域の皆さんと考えてみます」との回答をいただきました。</p> <p>なお、宮前小学校から歩いて約15分の「地域交流センター」には、芝生のグラウンドがあり、小学生以下の子どもは、ドッジボールで遊べます。校区外になりますので、保護者の方と一緒にご利用ください。</p> <p>【地域交流センター芝生グラウンドの利用できる日時】 木・金・日曜日：10時～17時、水・土曜日：13時～17時</p>	<p>開発建築部 市街地整備課 金浦 正臣 089-948-6499</p> <p>市民部 三津浜支所 浅田 明子 089-951-1157</p>
16	<p>SDGsについて、松山市にはどんな課題があって、どのような取組をしているのか知りたいです。</p> <p>人口減少による、人手不足の問題に対する松山市の取組についても教えてほしいです。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、松山城や道後温泉、豊かな自然、お遍路さんをおもてなしする文化など、多くの宝を生かして持続可能なまちを目指しています。</p> <p>例えば、中島地区では、地元の団体や民間企業、高校などが協力して、景色のいい海岸に宿泊できる施設や、島をめぐるマップをつくったり、みかんの皮からアロマオイルをつくったりするなど、島の特徴を生かして、SDGsで地域を元気にする取組をしています。</p> <p>人手不足の問題には、新たな技術を使うことが重要です。本市では、保育園や幼稚園でタブレットを使った出席確認を行ったり、介護の現場でロボットの力を借りる支援を行ったりしています。</p> <p>また、アプリを使って農家の方と収穫を手伝ってくれる人を結びつけるほか、離れた場所から機械を動かして草を刈ったり、ドローンを使って効率よく農薬をまいたりするなど、デジタル技術を使った、人手不足の対策を進めています。</p>	<p>総合政策部 企画戦略課 直野 充智 089-948-6943</p>

17	<p>最近、少子高齢化という言葉をよく聞きます。松山市では、人口を増やすためにどのような工夫をしていますか。私たちができることはありますか。</p>	<p>■可能 ■対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>松山市では、人口減少や少子化が、今以上、進んでいけないためのいろいろな取組をしています。</p> <p>若い人が松山に住み、仕事をして、結婚をして、子どもを産んで育てたいと思ってもらえるよう、市外で暮らしてきて、松山に帰ってきた人に仕事を紹介したり、男女の出会いの場をつくったりしています。</p> <p>また、18歳まで病院に必要な費用を無料にするなど、暮らしやすいまちづくりを進めています。</p> <p>ほかにも、松山市で暮らすことに興味がある県外の方に対して、相談会や移住を体験するツアーを開催しています。昨年度（令和5年度）は、これまでで一番多い2,994の方が、県外から移住してくれました。</p> <p>皆さんには、自分の住んでいる地域や、松山のことを好きになってもらって、松山の良さを、いろいろな人に伝えてほしいと思います。</p>	<p>総合政策部 企画戦略課 皆川 直也 089-948-6213</p> <p>坂の上の雲まちづくり部 まちづくり推進課 白石 修介 089-948-6095</p>
18	<p>松山市では、昔、ダムの水が空になったことがあるそうです。ダムの水がなくなったり、地震で電気が止まったり、交通手段がない場合、どのように対応するのか教えてほしいです。</p>	<p>■可能 ■対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input type="checkbox"/>その他</p>	<p>平成6年に、石手川ダムの水がほとんどなくなった時は、他のダムから水を分けてもらいながら、1日5時間しか蛇口から水が出ない「断水」をして、乗り切ることができました。</p> <p>松山市では、普段から節水呼びかけ、ダムの水が少なくなると、水の出る量を少なくする「減圧給水」で、早めの対応を行っています。</p> <p>また、市内には山の上などに、水道水をためる配水池があり、そこにポンプで送った水を、高さを利用して皆さんのお家へ送っています。そのため、電気が止まっても、しばらくは水が出るようになっています。</p> <p>さらに、松山市では災害に備えて、ペットボトルなどの飲料水を約4万2千リットル用意し、市内5か所の倉庫や、避難所になる公民館、小学校や中学校にたくわえて、もしもの場合に備えています。</p> <p>水は限りある資源です。「無理して水を使わないのではなく、ムダに水を使わない」ことが、水不足を防ぐことにつながります。学校やご家庭での節水に、ご協力をお願いします。</p>	<p>総合政策部 水資源対策課 越智 美香子 089-948-6947</p> <p>公営企業局 企業総務課 山口 雄之 089-998-9887</p> <p>浄水管理センター 山木 彩乃 089-977-0198</p> <p>防災危機管理部 危機管理課 高内 芳子 089-948-6793</p>